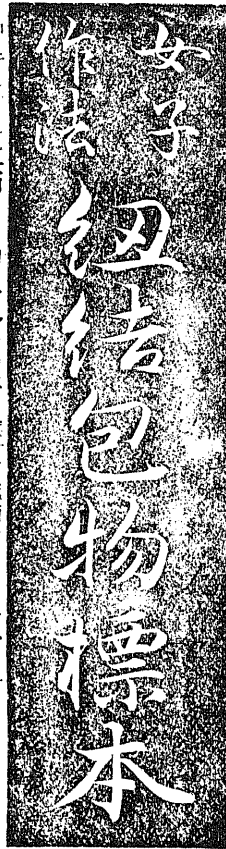


● 淑女諸君へ謹んで告ぐ ●

故實禮節松岡流。武家禮節。伊勢流。俗用禮節小笠原流。講師石井泰次郎先生製作



石井先生著 紐結包物教授法 全一册附屬

● 體裁

紐結標本ハ美麗ナル絹紐ニテ製シ厚キ落紙貳面ハ廿余種ヲ綴付ケ包物標本ハ和紙ニテ製シ合判ヲ附シ開閉自在トナシ厚キ和紙ノ套ニ二十種ヲ納メ、解説書ト共ニ是ヲ優美ナル帙挾ニ入レタル極メテ高尚ナル標本也

方今女子作法の一部として盛んに教授せらるゝ紐結包物は、我國禮節の花にして女子必須の技藝なるとは言を俟たず従て古來其書なきにあらず雖も圖面又は解説のみにて誠に解し難きのみならず誤傳多くして信すべきもの最も尠し著者石井先生は有名なる禮節家なる事は普く世人の知る處なり包結の法漸く其眞を失ふとするを慨き自らは是か雛形を製作せられ且附するに詳細なる解説を以てし傳引旁證包結の沿革を説き諸流の異同を辨つ方今の缺を揚げ非を匡し且是が製作の順序より使用法に至る迄一々密圖を挿みて之を説く恰も手探を教ゆるが如く實物と對照せば眞に炳々として火を睹るよりも明なり希くは各女學校一般各學校及び淑女諸君速に探て以て研證に資せられん事を謹告

發行所 東京市日本橋區通三丁目 嵩山房 小林新兵衛

電話本局百九十五番

此廣告に依り注文の御方は婦人の子供を見たる御附記を乞ふ

女子高等師範  
學校講師

岡田起作先生編并書

女子習字帖

全四冊

卷一金十錢 卷三金十二錢  
卷二金十一錢 卷四金十五錢  
郵税金各二錢

烏丸帖

全二冊

上卷金十八錢 下卷金二十錢  
郵税金各四錢

女子習字帖

全二冊

上卷金廿五錢 下卷金廿八錢  
郵税金各四錢

女子習字帖

全一冊

定價 金二十五錢 郵税金二錢

東京府師範學校教諭  
兼附屬小學主事  
立柄教俊先生校閱

國語研究會編

訂正  
六版

小學國語綴方教授書

全一冊

定價金三十八錢 郵税金六錢

教則は文部省令第十四號を以て改正せられ尋常小學の  
國語科に用ふべき假名、字音假名遣及漢字等は其の第  
一號第二號第三號の表に依りて指定せられたり而して  
從來一科を成せる作文科は之を國語科中級方として  
教授すべきこととなり蓋し國語科教授上の一大進歩  
にして又大改革なりと謂ふべきか本書該省令に準據  
し國語綴方教授の次序を正し方法を記述したるものに  
して教育經驗家諸氏の閑休たる國語研究會の編輯に係  
かるものなれば小學教員諸君國語教授參考書とし  
て最も適當なるのみならず直に採て教授草案に代ふこ  
とを得べし實に近來無比の好著なり

國語研究會編

新體 兒童の文例

全一冊

定價金十錢 郵税金二錢

發兌

東京市日本橋區本石町三丁目廿三番地

金昌堂

(前付の二)

此廣告依御注文の方婦人の子供を見たる御附記を乞ふ

鈴木米次郎作曲

唱歌遊戯研究會編纂

# 修身教典唱歌

尋常科第一學年より  
高等科第四學年まで  
全拾六冊  
洋製美本繪畫挿入  
尋常第一學年用上卷  
出版 正價金八錢  
郵税金二錢

本編ハ小學校令施行規則ノ御趣旨ニ基キ唱歌科ヲシテ各學科殊ニ修身科ニ關聯セシメ彼我相輔ヒ以テ道德教育國民教育成功ノ一助タラシメントテ唱歌遊戯研究會ニ於テ多年實地教育ニ從事シ尤モ熟練ナル教育家ト斯道ノ熟練家トヲ委員トシテ調査編纂セシメタルヲ審議研究シ尙某大家ニ修正ラ乞ヒ鈴木先生ガ作曲ナルヲ實地ニ施シテ其適否ヲ試ミラレ以テ完成セリ▲該書ハ普及舍編纂ノ新編修身教典各課ノ目的ト各章ノ主眼トヲ一致セシメ修身書ノ終ル毎ニ其相當課ヲ授クベク調詞用語ノ如キハ國語科ト其程度ヲ等フセラレタルハ實ニ他ニ其ノ比類ヲ見ザル處ナリ△本書ハ同修身書ヲ採用セル府縣ノ教科用書トシテ實ニ必要適切ナル者ナリ

小山作之助校閱 益山鎌吾著

# 中等單音唱歌

全一冊  
總クローヌ  
金文字入  
横綴頗美本  
定價四拾錢  
郵稅四錢

本集ハ著者ガ師範學校、中學校、高等女學校等ノ爲ニ實地教授ノ上再三修正ヲ加ヘラレタルモノニシテ内容ノ歌曲各々特殊ノ趣味ヲ有シ艶麗ナル温雅ナル清爽ナル等皆皆其詩情ニ調和セリ願クバ一本ヲ繙キテ樂ト詩ト繪畫ノ完備セル内容ヲ嘉シ學生ノ教養ト子女ノ愛育ノ資ニ供ヘ給ハンコトヲ

●幼年唱歌(初編上中下版) 册十錢宛

●日本遊戯唱歌(四編出東) 册十錢宛

發行所

東京銀座三丁目二番地

十

字屋

(電話新橋一千二百五十九番)

(前付の三)

高等師範學校教授吉田彌平君校閱  
女子高等師範學校教授齋藤鹿二郎君并序

國語研究會編

# 新 兒童普通文例

全一冊 近刊

和裝美本 十二月中發賣

昨年改正小學校令施行規則を發布せられて以來國語科教授は一大變革を生じ就中生徒に綴らしむべき文體に至りては意見百出始んど歸着温<sup>の</sup>和漸進派<sup>の</sup>學實驗教育者<sup>の</sup>餘の日子を費し各地方數校の生徒すべき所なし、本書は實に今日に最適切なる達意主義文體に編したるものなをして文體に頓着せず思ふがまゝに綴らしめたる材料を

長特に擧ぐべきもの三あり◎文例を示すは己れも新題をとらへて書いて見んとの念を誘發するにある事◎文體頗る話語に近くしてしかも格を失はざる事◎文例の内容及程度は總て兒童の思想兒童の學力より成りたる事

教師諸君の參考としては國語綴方教授書と相俟て教授の指針となり生徒にして之を讀まば蓋し興味津々たる中に已れの文材を誘發せられ思想一たび浮べば筆之に隨ふの境に達し得ん

東京市日本橋區本石町三丁目二十三番地

發行所

金 昌 堂